

様式3

静岡県公立大学法人

令和3事業年度に係る業務の実績に関する評価結果

令和4年8月

静岡県公立大学法人評価委員会

第1 静岡県公立大学法人の令和3事業年度における業務実績評価について

静岡県公立大学法人評価委員会は、「静岡県が設立する公立大学法人に係る評価基本方針」（H19.12.5制定）に基づき、令和3事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 評価を通じて、大学の教育研究及び法人運営の進捗状況等を分かりやすく示し、県民への説明責任を果たしていくものとする。
- (2) 法人の教育研究並びに組織及び運営についての様々な工夫や特色ある取組を積極的に評価するものとする。
- (3) 次期の中期目標・中期計画、法人の組織及び業務運営の見直しの検討に資するものとする。

2 評価方法

- (1) 年度評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- (2) 「全体評価」は、(3)の項目別評価を踏まえるとともに、当該年度の重点的な取組や法人の特性等に配慮しつつ、中期目標・中期計画の全体的な進捗状況を総合的に判断した。
- (3) 「項目別評価」は、法人による自己点検・評価の結果を基に、当該年度計画に定めた項目ごと、年度計画設定の妥当性も含めて総合的に検証を行い、中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況を確認した上で、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「法人の経営に関する目標」、「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」及び「その他業務運営に関する重要目標」の4つの目標別に総合的に検証した。

第2 全体評価

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

静岡県公立大学法人（以下「法人」という。）の令和3年度の業務実績に関しては、全体として「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、静岡県立大学及び同短期大学部が、社会の発展に寄与する「知の拠点」として、年齢層や国籍を問わず、多様な人材が集まる大学づくりを推進するとともに、地域に立脚した大学であるという認識を深め、積極的に地域貢献に取り組むほか、地域への理解とグローバルな視野を兼ね備えた、グローバル化社会で活躍できる人材育成に努めるなど、本県のみならず、国内外から支持される魅力的な大学となることを目指して計画を策定し、遂行している。

第3期中期目標期間の3年目である令和3年度は、中期計画及び年度計画に基づく数々の目標の達成に向けた取組を着実に進めた1年となった。

法人の中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況については、「第3項目別評価」のとおり、「**大学の教育研究等の質の向上に関する目標**」、「**法人の経営に関する目標**」、「**自己点検・評価及び情報の提供に関する目標**」、「**その他業務運営に関する重要目標**」の4項目について「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と認められる。

これらの状況と令和3年度の重点的な取組や法人の特性等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価が相当と判断した。

(3) 令和3年度の重点的な取組

ア コロナ禍における学生支援の充実について

寄付金を財源とした**独自の奨学金給付、生活支援物資の供給、学生食堂の食事代補助**、学生の居場所づくりのための**学生ホールの改修**など、学生支援の拡充を図った。スマートフォンで広告を閲覧することにより**生理用品を無料で提供**するシステムを女子トイレに早期に導入した。

学生・教職員へのワクチン接種を実施するとともに、遠隔授業の実施等により孤立しがちな学生に対し、SNS等により心身の健康保持のための情報発信を行った（No. 37、38）

イ 地域社会と協働した SDGs 推進について

令和元年に**静岡県立大学 SDGs 宣言**を行って以来、学内の推進組織の設立や具体的方針の策定などを進め、令和3年度は県内高校3校での教育活動の実施、国際シンポジウムの開催、静岡市駿河区における健康増進や多世代交流の取組の実施（静岡市からの受託事業）など、**積極的に地域社会に働きかけ、SDGs 推進活動を展開**した。(No. 55)

ウ グローバル教育の実施について

英語を使用して社会的課題解決を図る実践的な英語教育により、国際関係学部における**TOEIC L&R IP テスト目標スコア達成状況が向上**した。

海外渡航が困難な情勢において、海外大学とオンラインで協働して双方向で講義を行う**COIL 型授業の科目数及び受講者数を昨年度に比して倍増**させた。既存の教職員住宅を改修し、**海外からの留学生と日本人学生が混住して交流する国際学生寮を設置**し、入居を開始した。(No. 22、62)

2 評価に当たっての意見、指摘等

- 第3期中期目標期間の3年目となる令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、デジタル技術の活用等により、コロナ禍前に比べて**教育方法の向上や他大学及び地域社会との連携が促進**された事例も創出した。
- 人口減少が進行する中、**将来に渡って学生と地域社会に支持され続けるため**、大学全体の中長期的な展望を明確にし、中期計画に掲げる「**地域をつくる、未来をつくる**」大学として**一層進化**することを期待する。

[参考]項目別評価の結果

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
2 法人の経営に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
3 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
4 その他業務運営に関する重要目標	I 特筆すべき進捗状況	II 順調に進んでいる	III おおむね順調に進んでいる	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある

第3 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

大学の教育研究等の質の向上に関する目標の進捗状況は、「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と評価する。

(2) 判断理由

大学の教育研究等の質の向上に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の66項目中8項目が「**計画を上回って実施している**」、57項目が「**計画を順調に実施している**」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- ・ **管理栄養士及び歯科衛生士国家試験では6年連続、介護福祉士国家試験では3年連続で新卒者の合格率100%を達成**した。薬剤師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験においても数値目標を達成し、大学全体として**高水準の合格率を維持**した。(No. 14、15、16、17)
- ・ 複数の県内企業経営者を招いた講義の開催や、地域志向研究の展開など、**地域の魅力や県内産業の特長に関する学生の理解を促進**させた。また、きめ細かな就職支援により、学部、大学院、短期大学部それぞれに**高い就職率を維持**した。(No. 1、40、41)
- ・ 薬学部の教員が医薬品・ワクチンの開発を行う**大学発ベンチャー企業を設立**し、最先端技術の社会実装と新産業創出により地域社会への貢献に取り組んだほか、薬学部・薬学研究院における**研究成果が権威ある国際学術誌に掲載**された。(No. 42)
- ・ 受託研究や共同研究等の外部資金への応募に向けた取組を継続し、計394件、総額1,099,229千円を獲得し、**件数及び金額ともに数値目標を上回った**。特に**獲得金額は8年連続で増加**している。
科学研究費補助金については、**若手研究者の採択率が全国平均40%を大幅に上回る71%**となった。(No. 51)

(4) 課題とする項目

- ・ 大学院において入学定員の未充足が続いている。情報発信の強化や入学者選抜方式の改善等を行ったものの、**博士後期課程において、大幅に定員を下回った**。全国的に博士後期課程の定員未充足の傾向が進んでおり、安定的な**学生確保に向けた努力とともに、大学院全体の将来構想を議論する必要がある**。(No. 27)

2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・ 「看護実践教育研究センター」を設置し、看護師特定行為研修や女性向けの健康講座を実施した。県内の**看護分野のリカレント教育の拠点**として、地域医療の多様なニーズや看護職の教育ニーズに対応し、**教育内容の拡充**を図られたい。(No. 11)

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
1 教育	41	0	4	36	1	0
2 研究	12	0	2	10	0	0
3 地域貢献	8	0	1	7	0	0
4 グローバル化	5	0	1	4	0	0
合 計	66	0	8 (12.1%)	57 (86.4%)	1 (1.5%)	0

II 法人の経営に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

法人の経営に関する目標の進捗状況は、「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と評価する。

(2) 判断理由

法人の経営に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の11項目の全てが「**計画を順調に実施している**」と認められ、これらの状況を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- ・ 繁忙期を避けた法人固有職員の人事異動や、即戦力となる**職務経験者の採用試験**の初実施及び採用、職員の人材育成方針の策定など、職員人事制度の運用見直しにより、**多様な人材の確保と育成**を図った。(No. 69、70、71)
- ・ 国や自治体の補助金の活用、大学独自基金のインターネット申込の導入、過去5年分の消費税の申告内容見直しによる経費節減等を行い、**収入増加と効率的な予算執行を推進**した。(No. 74、76、77)

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
1 業務運営の 改善	7	0	0	7	0	0
2 財務内容の 改善	3	0	0	3	0	0
3 施設・設備の 整備、活用	1	0	0	1	0	0
合 計	11	0	0	11 (100%)	0	0

Ⅲ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標の進捗状況は、「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と評価する。

(2) 判断理由

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の2項目全てが「**計画を順調に実施している**」と認められ、この状況を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- ・ 質保証に関する規程等の改正により、自己点検・評価の方法や体制を改善し、**教育研究や業務運営の質の向上**に努めた。(No. 78)
- ・ 新たな進学情報サイトの活用を開始し、授業概要や講義動画を公開するとともに、複数の教員がオンラインで実施した講義ライブに約1,600人が参加するなど、**積極的な入試広報**を行った。(No. 79)

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
1 評価の充実	1	0	0	1	0	0
2 情報公開・ 広報の充実	1	0	0	1	0	0
合 計	2	0	0	2 (100%)	0	0

IV その他業務運営に関する重要目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

その他業務運営に関する重要目標の進捗状況は、「**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**」と評価する。

(2) 判断理由

その他業務運営に関する重要目標について、当評価委員会が検証した結果、年度計画記載の5項目すべてが「**計画を順調に実施している**」と認められ、この状況を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

(3) 特に評価する項目

- 臨床心理士による**年度当初の学生全員面談**やオンライン相談、**教職員採用時のハラスメント研修**の実施など、学生や教職員の教育研究環境の維持・向上に努めた。(No. 80、82)
- 空調換気設備及び配電設備更新工事における**省エネ機器導入**、シュレッダーによる機密文書の廃棄から**再利用可能な溶解処理への転換**推進など、環境負荷を低減させた。(No. 84)

[参考]小項目評価の集計結果

	評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
1 安全管理	2	0	0	2	0	0
2 社会的責任	3	0	0	3	0	0
合 計	5	0	0	5 (100%)	0	0

業務実績評価集計表（令和3年度）

区分		評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
教育 研究等	教育	41	0	4	36	1	0
	研究	12	0	2	10	0	0
	地域貢献	8	0	1	7	0	0
	グローバル化	5	0	1	4	0	0
	合 計	66	0	8 (12.1%)	57 (86.4%)	1 (1.5%)	0
法人経営		11	0	0	11	0	0
自己点検		2	0	0	2	0	0
その他		5	0	0	5	0	0
総合計		84	0	8 (9.5%)	75 (89.3%)	1 (1.2%)	0

業務実績評価集計表（令和2年度）

区分		評価対象 項目数	SS 計画を大幅 に上回って 実施	S 計画を上回 って実施	A 計画を順調 に実施	B 計画を十分 には実施し ていない	C 業務の大幅 な見直し等 が必要
教育 研究等	教育	41	0	5	36	0	0
	研究	12	0	3	9	0	0
	地域貢献	8	0	0	8	0	0
	グローバル化	5	0	0	5	0	0
	合 計	66	0	8 (12.1%)	58 (87.9%)	0	0
法人経営		11	0	0	11	0	0
自己点検		2	0	0	2	0	0
その他		5	0	0	5	0	0
総合計		84	0	8 (9.5%)	76 (90.5%)	0	0